

## 「国際政治と日本」開講にあたって

開倫塾

塾長 林 明夫

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授  
栃木県社会教育委員、開倫ユネスコ協会会長  
マニー株式会社 社外取締役)

### 1. はじめに

(1) 先ほどは、過大な御紹介を宇都宮大学国際学部部長の北島先生から賜り有難うございます。

私は、株式会社開倫塾の代表取締役を務める林明夫でございます。本講座のスポンサー企業の代表として一言ご挨拶させていただきます。

(2) 本講座は、前宇都宮大学学長の田原先生の御要請に基づきまして国際学部部長の北島先生を御紹介頂き、神長善次大使を宇都宮大学客員教授としてお招きし、開倫塾がスポンサー企業として3年前より実施されている「国際政治と日本」をテーマにする講座でございます。

(3) 開倫塾は、栃木県を中心に群馬県、茨城県に47校舎、約7000名の小・中・高生の塾生が学ぶ、教職員350名の学習塾であります。企業としての社会貢献活動の一環として、本講座を寄付させて頂いておりますことを御理解賜りたくお願い申し上げます。

### 2. 2006年度講義速記録の活用を

(1) 本日の講義に間に合わせ、神長善次大使の渾身(こんしん)の作品であります2006年度の宇都宮大学国際学部での講義速記録を完成させましたので、是非御活用頂きたくお願い申し上げます。

(2) この速記録は、開倫塾スタッフが2台の録音機を用い90分の授業15回分を録音させて頂いたものを、開倫塾塾長室スタッフが1回分を1週間以上かけて速記録をつくり、入力をし、何回も何回も校正。校正済の原稿を神長大使のもとにお送りし、5回に渡り大使が大幅に加筆修正し、入力し直したものを開倫塾印刷センターで印刷、製本。つい先日、本日の授業に間に合わせようと8月4日に完成したものです。実に講義終了後、まるまる2年かけて出来上がったものです。

神長大使のお力と開倫塾の録音スタッフ、速記録作成スタッフ、入力スタッフ、印刷製本スタッフの2年間の努力の結晶であります。神長大使の講義内容の充実度とともに速記録としての完成度の高さとしては、最高水準と考えます。

(3) 受講者の皆様におかれましては、本日8月6日と7日、8日の前半、1日3コマの授業終了後、後半9月25日、26日の2日間の集中授業まで1か月余りを活用し、前半授業を振り返りながら、十分に2006年度の講義速記録を御熟読し、図書館等を最大限活用しながら不足する知識を自らの手で補いながら学習して頂きたく希望します。

できれば、最低でも6回は速記録を「精読」し、「完全理解」し、すべて「定着」した上で、後半の授業にお臨み下さると極めて高い学習効果が期待できると確信します。

### 3. おわりに

(1) 神長善次大使が、インドのアシュラムという小さな村の塾のような学校のことを教えて下さいました。本年の受講者数は10数名と極めて少ないですが、インドのアシュラムのように、ものごとの本質に迫る内容になることを御期待申し上げます。

(2) 最後になりましたが、お忙しい中、長時間にわたる御準備をして御講義を賜る神長善次大使に心から感謝申し上げます。また、お忙しい中、開講に先立ちご挨拶を賜りました国際学部部長の北島先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(3) 受講者の皆様の御熱心な御受講を御期待申し上げます。

以上